

忘れられない風景、味と人
訪ねることが、力になる

被災地に残された趣のある風景、戻ってきた海の幸。浜の魅力を感じ、味わうこと、訪ねることが力になると、知っている人がいます。

わたしが好きな奥松島月浜地区の風景は、一度見たら忘れられない風景があります。荒波と風雨に浸食された白い岩肌の島々が浮かび、松の木の緑が映える。高台にある宿の階段を下

りると、神社があつて、静かな波が打ち付ける浜辺を見守っていました。月浜は津波の被害でみなさん大変な思いをされていますが、海辺に目をやると変わらぬ風景が残っており、心が慰められます。漁師が営む宿ならではの味もまた、格別です。2年前に泊まったときに食べたウニの美味しかったこと。甘みと、海水のほどよい塩加減が口の中で

相まって、絶品でした。震災以降に初めて泊まった昨年の秋はそんな贅沢を望むことはできませんでしたが、いまでは獲りたての地元の魚を使った食事を提供できるようになったようです。わたしがよくお世話になる「かみの家」のご主人は、夢のある人です。地域の再建を目指して奮闘しています。ご夫妻のお人柄を慕って訪れる客も少なくありません。わたしも、中国の書友や栗原の知人を連れて近くまで泊まりに行くつもりです。いまは宮城県内からの客が少ないと聞いていますが、何とか頑張ってもらい、復興につなげてほしいと願っています。

Vol.1

今できること プロジェクト

「今できることプロジェクト」とは、読者の皆さん、企業・団体の皆さん、河北新報社が一緒になって、これからの被災地・被災者支援のあり方を考え、具体的なアクションへとつなげていくプロジェクトです。紙面では毎回、実際に行われている支援の事例を、いくつかの支援スタイルに分けて取り上げ、支援する立場の人と支援を受ける立場の人、双方の生の声をご紹介します。今回のテーマは、営業再開したもののまだお客さまが戻っていない奥松島の民宿エリア。訪ねることが、いちばんの支援になります。

9月は特集紙面毎週掲載

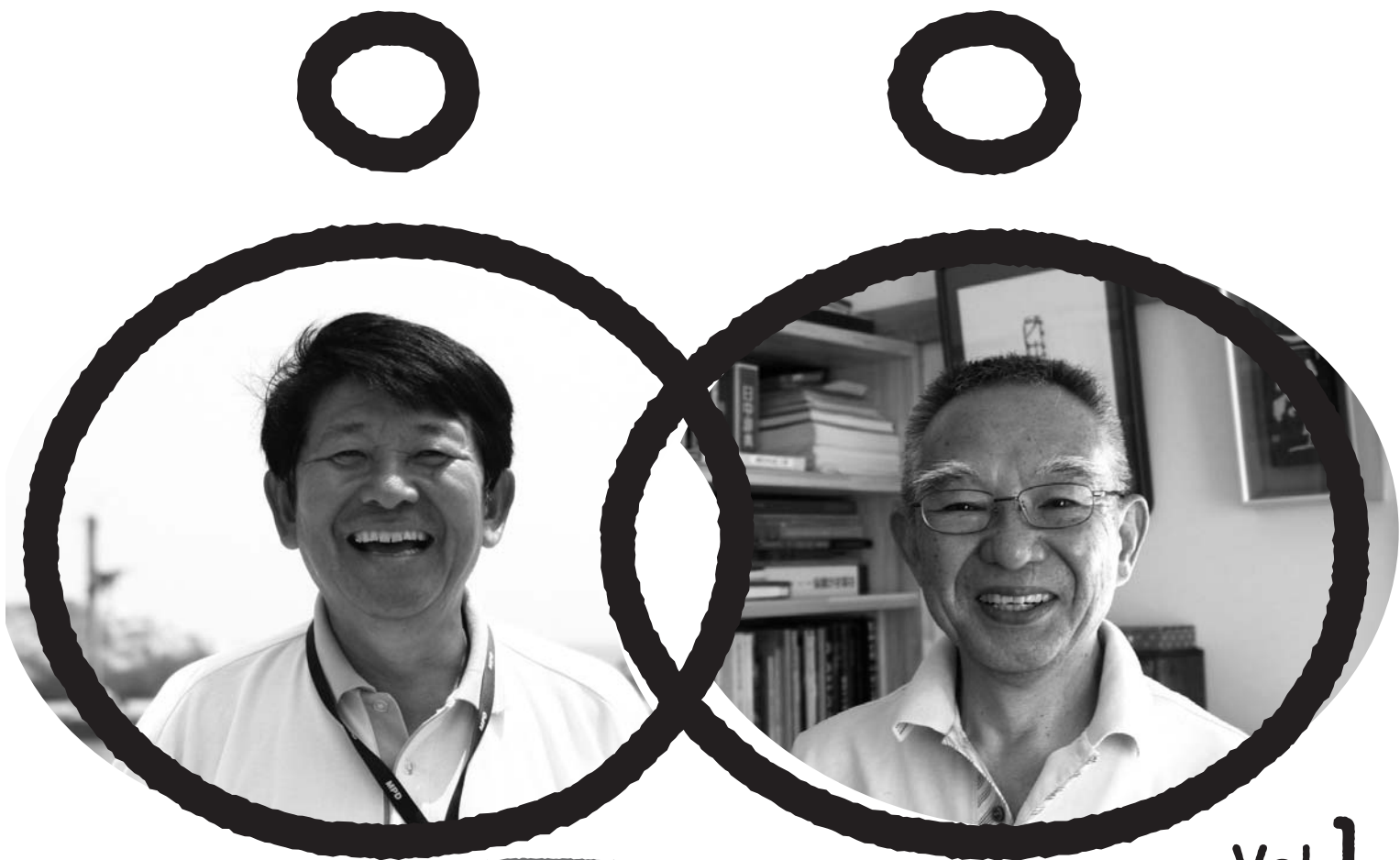
皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html

河北 今できること

検索

浜辺の魅力に、再び会う。



津波の被害を受けながら営業を再開した民宿。いまある資源を生かし、お客を迎えることが地域の再生につながると思ひ、元気に頑張っています。

東松島市宮戸の月浜地区は37世帯の大半が津波の被害を受けました。わたしの宿は高台にあって津波こそ免れたものの、地震で建物が壊れ、昨年11月によりやく営業を再開

できました。いまは震災前の約7割までお客様が戻っています。以前は宮城県内からのお客様が全体の3割を占めていましたが、現状は首都圏からの観光客がほとんど。県内の方は、被害を受けた場所を気遣い、気軽に遊びに行けないという思いも強いのでしょうか。

奥松島は規制が厳しかったため、豊かな自然が残る場所です。幸いなことに、震災に遭っても海辺の景観

には大きな変化はなかった。地域では9年前に「奥松島体験ネットワーク」という団体を作り、お客に漁業やシーカヤックなどを楽しんでもらう体験型の観光産業づくりを進めており、今年はその活動も再開しました。震災からいち早く復興するには、少しでも早く動いた方がいい。今年の頑張りが来年につながるからです。

月浜では近く、新たに2軒の民宿が営業を始めます。浜ならではの体験ができて、食事ができて、宿泊できる施設がいくらかでもそろっていれば、お客様をお呼びすることができ、景色や食べ物、人の穏やかさを感じて寛いでいただき、「また来たい」と思ってもらえる地域をみんなで作っていききたいですね。

東松島市宮戸月浜の民宿「かみの家（いえ）」主人

小野勝見さん（63）



◎奥松島・月浜

日本三景・松島湾の入り口に浮かぶ宮戸島（東松島市）などの一帯を総称して奥松島と呼びます。波の静かな内海と荒々しい海岸美に恵まれ、年間を通じて多くの観光客が訪れていました。東日本大震災で多くの地域が被災しましたが、複数の民宿や飲食店が困難を越えて営業を再開しました。東松島市宮戸月浜は宮戸島の南端に位置しています。

●私たちも、被災地支援のため「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/いのちの電話 震災ダイヤル/岩手日日新聞社/NTTデータ東北/鹿島建設 東北支店/KIRIN/ケーズデンキ/サッポロビール/サントリービア&スピリッツ 東北支社/JA全農みやぎ/JT 仙台支店/鈴木工業/住友生命 仙台総支社/住友林業 仙台支店/青南商事/セキスイハイム東北/石油連盟/仙都タクシー/第一生命 仙台総合支社/大東住宅/タゼン/東海東京証券/東北三菱自動車販売/一般社団法人 日本手芸学会/日本政策金融公庫 仙台支店/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命/はとバス/東日本大震災事業者再生支援機構/ビルワーク/富士フィルムグラフィックシステムズ/ベルモードスズキ/ペロタクシー/北洲ハウジング/ホテル佐勘/三菱地所グループ/宮城県遊技業協同組合/みやぎ生活協同組合/宮城第一信用金庫/宮城中央ヤクルト販売/明治安田生命 仙台支社/鷹泉閣 岩松旅館/リコージャパン 東北営業本部/河北新報社

◎後援/宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会

東松島市・奥松島のファン 栗原市瀬峰の書家

遊佐聖心さん（64）

県内の沿岸被災地の宿泊施設や飲食店情報は、各地の観光協会にお問い合わせください。いくつかご紹介します。

①南三陸町観光協会 tel 0226-47-2550

震災体験を風化させないため、『学びのプログラム（震災の語り部）』に取り組んでいる。※プログラムは団体向け、11月までの予約は終了。

②石巻観光協会 tel 0225-93-6448

魚市場の再建が進み、水揚げが増えてきた。9月は戻りカツオの旬。10月にはカキも獲れるようになる。

③女川町観光協会 tel 0225-54-4328

女川といえばサンマ。港で水揚げされた新鮮なサンマを購入したり、飲食店で味わったりできる。